

はしがき

本書は、マリオ・マレガ氏の著書『豊後切支丹史料』（サレジオ会 一九四二年）・『続豊後切支丹史料』（ドン・ボスコ社 一九四六年）に収載された同氏収集史料を、原文書より翻刻したものである。

二〇一一年、サレジオ会の神父であったマリオ・マレガ氏が一九三〇年代に収集した豊後地域の文書が、送付先のバチカン図書館において再発見された。その整理・保存・公開のために、バチカン図書館と、大学共同利用機関法人人間文化研究機構が研究協力協定を結び、国文学研究資料館が主幹となって、マレガ・プロジェクトが開始された。本書はその成果の一つである。

マレガ・プロジェクトに協力機関として参加する東京大学史料編纂所では、マレガ氏収集史料の研究を、共同利用・共同研究拠点の特定共同研究課題の一つとして位置付けた。所内・所外の研究者による特定共同研究グループでは、両書収載史料の原文書を確定し、翻刻及び校訂を行ない、史料集として本書を刊行することにした。

マレガ氏が選択した文書を、もう一度原文書から甦らせることで、マレガ氏の著書を、そしてその収集史料を理解する手がかりを提供することが、本書の意図である。

本書は、マレガ・プロジェクトによる成果の一環として、バチカン図書館の許可を得て、刊行するものである。このような形で刊行については、マレガ氏が所属し、『豊後切支丹史料』（正編）の発行所でもあるサレジオ会、そして『続豊後切支丹史料』の発行所であるド・ボスコ社からも、ご了解をいただいた。

二〇一九年十二月

編者代表 松井洋子

目次

口絵

はしがき i

解題

『豊後切支丹史料』とマレガ氏収集史料……………松井洋子 1

翻刻

凡例……………36

正1 (寛文八年)九月二十五日 キリシタン取締りにつき報告書……………39

正2 寛文八年十月二十三日 キリシタン取締り報告につき返書……………40

正 3—1	(寛文八年) 九月二日 キリシタン類門につき通告書	41
正 3—2	(寛文八年) 九月二十五日 キリシタン類門籠舎申付につき報告書	43
正 4	(寛文八年) キリシタン訴人行状につき報告書	44
正 5—1	(寛文八年) 久土村長熊訴人之覚	45
正 5—2	(寛文八年) 九月二十五日 久土村長熊訴人之覚	46
正 5—3	(寛文八年) 久土村長熊訴人之覚	47
正 6	(寛文八年) 九月十九日 キリシタン類門等扱方につき回答書	48
正 7	(寛文九年) 西正月十三日 キリシタン類門助命者書上	49
正 8	(寛文八年) 九月二十二日 横尾村キリシタン籠舎申付指示書	50
正 9	(寛文八年) 九月二十六日 横尾村キリシタン捕縛につき報告書	51
正 10	元禄四年九月 キリシタン類族死失者帳	52
正 11	(寛文九年) 西正月二十三日 切支丹宗門之者御預帳	72
正 12	(延宝六年) 七月十六日 白杵城下預り邪宗門籠死報告につき書状	78
正 13	(延宝六年) 午七月十六日 白杵城下預り邪宗門死去通知書	78
正 14	(延宝六年) 七月二十一日 白杵城下預り邪宗門籠死承知につき書状	79
正 15	寛文六年四月十九日 百姓屋敷より発見のキリシタン宗門道具書上	79
正 16	元禄元年十月 岡領大野郡市万田組耶蘇宗門類族帳	81
正 17	正徳元年十一月 本人・本人同然・類族人数書上	172

正 18	正徳二年十一月	キリシタン類族出生通知書……………	173
正 19	正徳二年十一月	キリシタン類族病死通知書……………	174
正 20	文化十四年七月	キリシタン類族切証文(佐伯藩)……………	174
正 21	寛永十二年十一月八日	キリシタン宗門改につき起請文……………	175
正 22	文久四年正月	キリシタン宗門改証文(杵築藩)……………	176
正 23	寛永十二年十一月	キリシタン宗門再改につき請書……………	177
正 24	正保三年八月五日	転キリシタン宗門再改につき請書……………	178
正 25	正保三年	宗門改につき寺院請書……………	179
正 26	正保三年八月十六日	キリシタン宗門再改につき五人組請書……………	180
正 27	正保三年十一月一日	毛井村組責理志且御改五人組御帳……………	182
正 28	天保九年八月二十九日	宗門御改ニ付毎月仕上五人組御書物……………	184
正 29	(年未詳)十二月十七日	長崎へ年始祝詞・踏絵借用使者申付状……………	187
正 30	天保十二年閏正月	宗門踏絵御改ニ付家内帳……………	188
正 31	安政六年二月	踏絵ニ付費物通……………	188
正 32	天保十一年正月二十三日	白杵城下惣町人数附……………	193
正 33	天保九年正月二十三日	キリシタン宗門改につき請書……………	193
正 34	(年未詳)未四月	小侍踏絵触帳……………	194
正 35	慶応四年正月二十七日	キリシタン宗門改につき請書……………	196

正 36	安永五年正月二十三日	キリシタン宗門改につき請書	197
正 37	享保十九年正月二十三日	市浜村山伏蓮花院宗門改書上	198
正 38	(嘉永三年) 戊正月	病人踏絵実施場所につき伺書	198
正 39	(年未詳) 寅二月十三日	山伏家内病人踏絵につき願書	199
(参考 1)	貞享四年六月二十二日	キリシタン取締触書	200
正 40	享保十三年五月十六日	転キリシタン子孫死骸取置証文	201
正 41	享保十三年五月十六日	転キリシタン子孫死骸取置証文	202
正 42	(宝永七年) 三月二十五日	転キリシタン娘死骸塩詰伺い等につき書状	202
正 43	宝永七年三月十七日	転キリシタン娘死骸塩詰申付につき伺書	203
正 44	正徳四年十二月	キリシタン取締り高札写(中津藩)	203
正 45	正徳四年正月	キリシタン訴人高札写(中津藩)	204
正 46	享保三年十一月十四日	久土村出生子届書	205
正 47	元文四年八月十九日	転キリシタン子孫入婿につき引越届書	205
正 48	元禄十一年九月二十九日	キリシタン取締り請書	206
正 49	慶長十八年五月	キリスト教等禁制定書	207
正 50	正保三年七月二十七日	宗門改証文	209
正 51	文政三年九月二十八日	キリシタン取締り請書(府内藩)	209
(参考 2)	元禄四年四月晦日	不受不施派禁止令	210

	正 52	慶長十八年五月 キリスト教等禁制定書……………	210
	〔参考 3〕	慶長十八年十二月 伴天連追放令……………	215
	続 1	(寛文年間) 長崎へ度々被召寄候切支丹類門人数之覚……………	217
	続 2	寛文五年正月 長崎籠舎存生ノ人数……………	228
	続 3	(寛文九年) 西正月二十一日 長崎与遣取之状案紙不見へ候分書出シ……………	233
	続 4	(年月日未詳) 長崎と遣取の状所在不明分書出……………	239
	続 5	寛文元年 丑之年長崎江此方ち遣状写……………	239
	続 6	寛文元年 丑之年長崎より之状写……………	244
	続 7	(寛文元年) 閏八月十四日 キリシタン類門受取につき書状……………	250
	続 8	(寛文元年) 閏八月二十九日 江戸へ被遣候跡書……………	251
	続 9	寛文元年七月四日 五人組被仰出之覚書……………	254
	続 10	寛文四年正月二日 斬罪人村名書付につき覚書……………	255
	続 11	寛文五年 巳歳長崎江此方ち遣状写……………	255
	続 12	(寛文五年) 久土村百姓長蔵屋敷絵図……………	262
	続 13	(寛文五年) 正月二十六日 キリシタン類門長崎護送につき書状……………	263
	続 14	(寛文五年) 巳正月二十六日 切支丹類門之もの名付之覚……………	263
	続 15	(寛文五年) 巳二月四日 切支丹宗門之囚人受取証文……………	265
	続 16	(寛文五年) キリシタン類門書付等につき覚書……………	265

続 17	(寛文五年) キリシタン類門名付等につき覚書……………	266
続 18	(寛文五年) 巳正月二十一日 キリシタン法度書……………	266
続 19	寛文五年二月四日 吉利支丹道具之覚……………	267
続 20	寛文五年二月十四日 久土村八左衛門女房血判起請文……………	267
続 21	寛文五年四月晦日 キリシタン類門受取証文……………	268
続 22	(寛文五年) 巳六月二十一日 切支丹宗門囚人請取申覚……………	268
続 23	(年月日未詳) 白杵藩領民三十八人につき書上……………	269
続 24	(寛文五年) 四月晦日 キリシタン類門引渡につき書状……………	270
続 25	寛文五年六月二十九日 請取申長崎右御返シ人之事……………	271
続 26	(寛文五年) 巳六月二十二日 キリシタン類門受取・送還につき書状……………	271
続 27	寛文五年六月二十三日 門田村久三郎送還中死去につき申立書……………	272
続 28	(寛文五年) 六月二十九日 被送還者取扱方につき書状……………	273
続 29	(寛文五年) 七月一日 門田村久三郎自害取計方等につき書状……………	274
続 30	(寛文五年) 長崎護送キリシタン尋問経緯につき口上書……………	275
続 31	(寛文五年) 八月十四日 キリシタン類門送還につき書状……………	276
続 32	(寛文六年) 午五月十九日 宗門道具発見経緯等につき申入書……………	276
続 33	(寛文六年四月十八日) 宗門道具発見経緯等につき口上書……………	278
続 34	(寛文六年四月十八日) 絵図・宗門道具諸事書付包紙……………	278

続 35	(寛文六年四月十八日) 年ノ尾村分左衛門家屋絵図……………	279
続 36	(寛文六年) 午四月十八日 年ノ尾村分左衛門家屋解体手伝人・長崎送付道具書付……………	280
続 37	寛文六年 午之年長崎 ^ち 之状写……………	281
続 38	寛文六年 午之歳長崎江被遣状案紙……………	282
続 39	寛文六年十二月一日 邪宗門被疑者送還につき受取証文……………	285
続 40	(寛文六年) 十二月六日 長崎より被送還者につき書状……………	285
続 41	(寛文六年) 午十二月一日 籠内病死者等につき書付……………	286
続 42	(寛文八年) 長崎にて成敗の者につき書付……………	286
続 43	(寛文八年) 十一月三日 切支丹類門之覚……………	287
続 44	(寛文八年) キリシタン類門病死者等につき報告書……………	290
続 45	(寛文八年) 十二月二十五日 キリシタン類門四十四人之帳につき報告書……………	291
続 46	(寛文八年) 長崎へ召喚の者病死につき報告書……………	292
続 47	(寛文八年) 十一月三日 久土村長熊訴人之類門之覚……………	292
続 48	(寛文八年) 十一月三日 キリシタン類門処分につき報告書……………	293
続 49	(寛文八年) キリシタン類門書上帳……………	294
続 50	(寛文九年) 酉正月二十三日 白杵城下籠舎被申付者書付……………	300
続 51	(寛文九年) 二月五日 キリシタン被疑者処分承知につき書状……………	302
続 52	(寛文九年) 二月九日 籠舎申付・宗門道具穿鑿につき報告書……………	303

続 53	(寛文九年) 六月七日 御預之宗門之者籠死につき報告書……………	303
続 54	(寛文九年) 六月七日 御預之邪宗門於籠屋相果申候者之覚……………	304
続 55	(寛文九年) 六月七日 邪宗門被送還者処分につき報告書……………	306
続 56	(寛文九年) 六月七日 長崎お御助御返被成候者之書付……………	307
続 57	(寛文九年) 八月六日 キリシタン訴人および籠死者につき書状……………	307
続 58	(年月日未詳) キリシタン類族病死につき届書下書(延岡藩)……………	308
続 59	(寛文六く同十年) 七月二十二日 キリシタン助命および籠死者報告につき返書……………	309
続 60	(寛文十年) 八月十二日 キリシタン病死者書付受取につき返書……………	309
続 61	(寛文十年) 十二月十七日 キリシタン籠死者報告につき返書……………	310
続 62	(寛文十年) 十二月十九日 蜜柑贈答および籠死者につき書状……………	310
続 63	(寛文十一年) 二月二十七日 キリシタン類門処分承知につき書状……………	311
続 64	貞享三年閏三月 キリシタン後家等質奉公につき届書……………	311
続 65	(年月日未詳) キリシタン類族につき書付……………	312
続 66	(寛文十一年) 亥八月二日 キリシタン類門帳包紙……………	312
続 67	延宝二年く天和三年 白杵藩御会所日記抜粋……………	313
続 68	延宝六年正月 長崎江遣状跡書……………	320
続 69	延宝六年十二月二十九日 キリシタン送還につき受取証文……………	323
続 70	延宝六年正月 従長崎参候状写……………	323

続 71	延宝六年十月二日 キリシタン送還につき受取証文……………	325
続 72	(延宝八年) キリシタンおよび類族につき書付……………	325
続 73	貞享四年十月二十日 キリシタン類族帳(久所村佐右衛門類族)……………	326
続 74	(年月日未詳) キリシタン類族帳(白杵庄半三郎村馬之助女房類族)……………	333
続 75	貞享四年十月二十一日 キリシタン類族帳(三重山中村ちよ類族他)……………	335
続 76	貞享四年十月 キリシタン類族帳(平清水町之内ぬるいと乞食知三女房類族)……………	337
続 77	(貞享四年) キリシタン類族帳(三重山中之内小中尾村久藏女房類族)……………	338
続 78	貞享四年十一月六日 キリシタン類族帳(小池原村吉之丞類族)……………	341
続 79	貞享四年八月 キリシタン類族帳(通村吉助女房類族)……………	345
続 80	享保九年十月二十三日 キリシタン類族帳(浜町女類族)……………	351
続 81	元文二年三月九日 本人同然長作病死につき取置証文……………	352
続 82	(寛文十二〜延宝七年) 九月十一日 キリシタン籠死報告承知につき書状(岡藩)……………	353
続 83	(寛文十二〜延宝七年) 九月七日 キリシタン籠死報告につき書状(岡藩)……………	353
続 84	(寛文十二〜延宝七年) 十月八日 キリシタン籠死につき取計方覚書(岡藩)……………	354
続 85	(寛文十二〜延宝七年) キリシタン籠死報告につき書状(岡藩)……………	354
続 86	寛文十二年十二月 助命キリシタン受取につき長崎と遣取状(岡藩)……………	355
続 87	文化三年八月 クルス御紋説(岡藩)……………	357
続 88	享保十五年七月十九日 誓願寺村弥六引越につき届書……………	358

続 89	(元禄元々二年頃) 久土村真本人・子本人死亡分書上帳……………	359
続 90	(元禄元々二年頃カ) 真本人生存分書上帳……………	370
続 91	(元禄二年頃) 子本人死亡分書上帳……………	374
続 92 1	元禄二年七月六日 存命之本人子本人之御帳……………	384
続 92 2	元禄二年七月六日 転本人并子本人存命之覚……………	385
続 92 3	元禄二年七月六日 存命本人之御帳……………	389
続 92 4	元禄二年七月六日 転本人存命ニ有之者之御帳……………	394
続 92 5	元禄二年七月六日 転本人存命之者名付……………	394
続 93	キリシタン類族系図等(地方落穂集卷拾三より)……………	397
続 94	切支丹類族一件之事抜粹(地方凡例録卷之八より)……………	398
続 95	(安永二年)五月四日 江戸出向類族御小人系書送付につき書状……………	399
続 96	天保十一年十月二十五日 類族御通……………	400
続 97	貞享四年八月一日 古転之者扱方につき申渡書……………	400
続 98	安永七年十月晦日 類族替目につき熊本藩へ通達書……………	401
続 99	(明和五々安永二年)五月十九日 本人・本人同然類族目録落手等につき書状……………	402
続 100	寛延四年七月二十五日 養子離縁につき内証伺書……………	403
続 101	安永四年八月二十一日 江戸出向類族系書送付につき書状……………	403
続 102	安永九年三月五日 江戸詰足輕以下類族系書送付につき書状……………	404

続 103	(明和五)安永二年)四月十四日 宗門方勤務交替につき書状……………	404
続 104	(安永二)天明三年)八月二十九日 類族関係諸帳受領および目録返却につき書状…	405
続 105	転切支丹血脈続之事抜粹(地方落穂集)巻拾三より)……………	407
続 106	嘉永五年正月・二月 踏絵実施につき宗門役所日記抜粹……………	407
続 107	(年未詳)二月一日 在中踏絵実施につき宗門役所日記抜粹……………	408
続 108	(年月日未詳) 踏絵につき触夫足輕名前書上……………	409
続 109	(年月日未詳) 踏絵につき廻村役人書上……………	409
続 110	(年月日未詳) 踏絵につき廻村役人書上……………	410
続 111	(年未詳)辰二月二十二日 踏絵出役につき出扶持請求書……………	410
続 112	(年月日未詳) 踏絵出役につき諸人足差出指示書……………	411
続 113	(年未詳)申二月二十日他 踏絵帳面用紙・踏絵改経費受取証文綴……………	411
続 114	(年月日未詳) 踏絵御改ニ付雑用帳……………	412
続 115	(文政七年)申十二月二十二日 御用につき登城召状……………	413
続 116	(文政年間)十二月二十三日 踏絵借用使者交替につき通達書……………	413
続 117	(文政年間)十二月二十三日 長崎使者駕籠使用につき通達書……………	414
続 118	(年未詳)正月十九日 踏絵板拝借のため長崎往返につき事状……………	414
続 119	安永二年二月二十八日 踏絵返却使者出立につき書状……………	414
続 120	(年未詳)二月一日 踏絵返却人足等につき宗門役所日記抜粹……………	415

続 121	(年未詳) 二月二十一日 踏絵返却使者出立につき絵板引渡通達書……………	415
続 122	文化八年正月二十三日 宗門改につき請書……………	415
続 123	文化八年正月二十三日 切支丹宗門改につき請書……………	416
続 124	寛政元年六月 小侍踏絵触帳……………	417
続 125	(年月日未詳) 踏絵触につき口上書……………	418
続 126	明和元年閏十二月 白杵藩宗門方日記抜粹……………	419
続 127	寛政六年八月 白杵藩宗門方日記抜粹……………	421
続 128	(享保十二年) 未正月二十一日 諏訪番人踏絵延滞につき願書……………	422
続 129	(享保十二年) 正月二十四日 老病にて踏絵出頭困難者につき願書……………	422
続 130	(年月日未詳) 家中家来踏絵時不在者扱方につき指示書……………	423
続 131	(享保十二年) 正月二十三日 寄留先にて踏絵願書……………	423
続 132	(享保十二年) 未正月二十日 江戸在勤者家内踏絵につき願書……………	423
続 133	享保十二年正月二十三日 海蔵寺住持行脚中下人踏絵につき願書……………	424
続 134	(年月日未詳) 白杵城下踏絵順番付……………	424
続 135	(年未詳) 正月二十九日 矢野八郎右衛門引込中踏絵につき諸事伺書……………	425
続 136	天保十四年二月 社人踏絵につき先踏願書(府内藩)……………	425
続 137	文政十年正月二十三日 社人宗門御改ニ付家内帳……………	426
続 138	慶応元年九月二十五日 他所立帰人宗門改につき証文……………	427

続 139	(年未詳) 申二月 急病につき病人寄場にて宗門改願書……………	427
続 140	文政七年二月十七日 難病につき自宅にて宗門改願書……………	428
続 141	(文政七年カ) 申二月七日 病気につき寝所にて宗門改願書……………	429
続 142	(年未詳) 巳二月二日 難病につき自宅にて宗門改願書……………	429
続 143	元禄十六年正月二十三日 キリシタン宗門改につき証文……………	430
続 144	正保三年九月一日 森村組責理志且御改五人組之御帳……………	430
続 145	延宝九年二月十八日 宗門御改御書物御帳……………	437
続 146	天保八年十一月二十九日 宗門御改ニ付毎月仕上五人組御書物……………	446
続 147	天保十五年正月二十三日 切支丹宗門踏絵御改ニ付家内帳……………	457
続 148	天保十一年六月晦日 宗門御改判形帳(岡藩)……………	458
続 149	明治二年三月 (筑前国) 上座郡神祇官附属社家宗旨御改帳……………	472
続 150	明治三年三月 (筑前国) 上座郡神祇官附属神職宗旨御改帳……………	474
続 151	文政十一年正月二十三日 切支丹宗門踏絵御改ニ付家内帳……………	477
続 152	文政十一年九月二十九日 切支丹宗門御改ニ付毎月仕上御書物……………	477
続 153	(年未詳) 正月 宗門改実施方につき府内藩年中行事抜粹……………	478
続 154	(年未詳) 踏絵実施につき座配図(府内藩)……………	478
続 155	(寛文十二年) 岡藩役人日記抜粹……………	479
続 156	宝曆十三年・享保十一年 豊後日出藩郡監日記抜粹……………	480

続 157	元禄九年六月	岡藩領居住白杵藩類族縁組死失出生書付……………	481
続 158	(享和元年カ)	酉十二月二十五日 田井村類族六三郎人相書……………	482
続 159	天保六年七月六日	内山村重治弟類族次三郎人相書……………	483
続 160	元文二年三月	医師渡世のため類族他出何書……………	484
続 161	享和二年	医師稽古のため類族他出何書……………	484
続 162	文政十二年	引越につき起請文……………	485
続 163	貞享五年八月三日	類族病死につき届書……………	485
続 164	(年月日未詳)	類族剃髪改名につき書付……………	486
続 165	(年月日未詳)	類族剃髪改名につき書付……………	486
続 166	(年月日未詳)	類族変死につき届書……………	487
続 167	(年未詳)	卯八月二十五日 弁指役儀拝命につき印判改届書……………	487
続 168	元禄二年閏正月六日	類族縁付につき届書……………	487
続 169	享保十五年十一月二十一日	類族養子義絶につき届書……………	488
続 170	(年月日未詳)	檀那寺変更につき書付……………	489
続 171	(年月日未詳)	一家一宗限りにつき寺替のこと書付……………	489
続 172	(文政八年カ)	法談につき届書……………	490
続 173	(年未詳)	七月十一日 死罪等届落取扱方につき通達書……………	490
続 174	寛文七年四月四日	古キリシタン転び病死につき取置証文……………	491

続 177
続 176
続 175

寛文七年四月四日 古キリシタン転び病死につき取置証文……………491
享保十七年正月 質奉公につき宗門送り状(延岡藩)……………492
寛政二年六月 養子につき宗門送り状……………492

あとがき……………493

白杵藩村組一覽……………(38)

近世後期の白杵藩の村……………(28)

白杵藩宗門奉行就任者一覽……………(24)

収載史料編年一覽……………(16)

人名索引……………(1)

SAMPLE